

安心して暮らせる 地域共生社会を目指して

～無縁から有縁へ ともにつながるまち～

近年、単身世帯の増加や少子高齢化、地域のつながりの希薄化等を背景として、生活困窮、ひきこもり、虐待など地域における福祉問題は複雑かつ多様化してきており、地域社会の中で生活のしづらさを感じている人が増えてきています。またそれらの問題は見えにくく、問題が深刻化した状態になってから発見されることが多く見受けられます。

誰もが住み慣れた地域の中で孤立することなく安心して暮らしていくためにも共に生きていく「共生・共助」の視点で、地域住民と関係機関の連携・協働による予防策や対応策を講じることが必要になっています。

そこで、本シンポジウムでは、支えあいや孤立防止のための取り組み実践報告を通して、共に生き、支えあうことのできる「地域のつながりづくり」について考える機会にしたいと思います。

日時
平成31年 **2/22** (金)

●開場：13時
●開始：13時半～16時半 終了予定

会場
松江市総合福祉センター
4階大ホール

(松江市千鳥町70)
※裏面の地図を御覧ください

開会 13:30～13:40

基調講演 13:40～15:10

「無縁から有縁へ ともにつながるまち」

NPO 法人抱樸

理事長 奥田知志 氏

シンポジウム 15:10～16:30

「支えあい・孤立防止の取り組み」
実践報告～個別支援を通して～

閉会 16:30

参加費
無料

※事前申込が必要です

■講演者 職歴・経歴

1963年7月滋賀県大津生まれ。関西学院大学神学部大学院修士課程卒業、西南学院大学神学部専攻科卒業。

学生時代に訪れた大阪市・釜ヶ崎(現:あいらん地区)の日雇い労働者の現状を目の当たりにし、ボランティア活動に参加したことがきっかけで、以来、ホームレス支援に関わり続けている。

1990年、日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会の牧師就任。同時に抱樸の前身となる北九州越冬実行委員会の事務局長に就任。

2000年、NPO法人として認証を受け、北九州ホームレス支援機構を設立。理事長に就任。

2014年、団体名称を現在の「抱樸(ほうぼく)」に変更。

現在、北九州を中心に、3カ所の自立支援施設を運営する。北九州で活動開始後30年で3200人以上のホームレスを自立へと導き、自立継続率も9割以上という驚異的な実績を持つ。

ホームレス支援全国ネットワーク代表等も務め、NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に2度出演するなど、その活動は、マスコミにもしばしば取り上げられている。



参加対象

○松江市民の方ならどなたでもご参加いただけます。

参加定員

200名

○定員になり次第締め切りますのでご了承ください。

参加費

無料

申込方法

○下記に必要事項を記入したFAXもしくはメールにてお申し込みください。

タイムスケジュール

13:00～13:30 受付

13:30～13:40 開会

13:40～15:10 基調講演

「無縁から有縁へ ともにつながるまち」

NPO 法人抱樸 理事長 奥田知志氏

15:10～15:20 休憩

15:20～16:30 シンポジウム

「支えあい・孤立防止の取り組み」

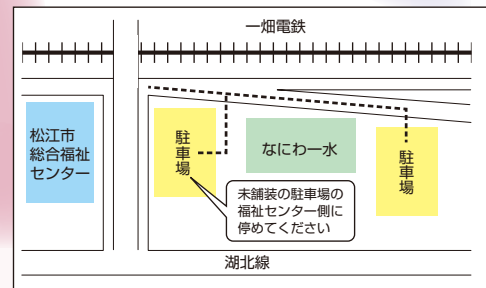
実践報告～個別支援を通して～

(コーディネーター) 島根大学人間科学部
准教授 加川 充浩氏

(コメンテーター) 奥田 知志氏

会場

松江市総合福祉センター 4階大ホール
(松江市千鳥町70)



※駐車場に限りがございますので、できるかぎり公共交通機関をご利用ください。

申し込み 問合せ先

松江市社会福祉協議会 松江市暮らし相談支援センター

TEL (0852) 60-7575 FAX (0852) 60-7576 E-mail kurashi@shakyou-matsue.jp

参加申込記入欄

FAX 送信先 (0852) 60-7576

2/8(金)
締切

松江市社会福祉協議会公開シンポジウム

「安心して暮らせる地域共生社会を目指して～無縁から有縁へ ともにつながるまち」

氏名	所属またはお住まいの地区	電話番号